

はまなす通信



野田はまなす会会報

No. 65 (令和4年9月)

写真：3年ぶりに開催された野田まつり
下組自主制作山車
「陰陽師第二章指神御子伝説」

ごあいさつ



会長
久慈 士郎

今年、初秋から大気不安定によるゲリラ豪雨が各地域を襲いました。皆さんの住まいの地域は、どうだったでしょうか。

思い起こせば、新型コロナウイルス感染症の始まりは、中国武漢市で2019年（令和2年）12月暮れに「原因不明肺炎症」発生との報道からでした。

私は報道をあまり気にせず、いつも通りの正月を迎えました。が、年明けの1月中旬に武漢市からの帰国者が日本各地で感染と診断された。それ以来、クルーズ船、さつぽろ雪まつり、屋形船などで集団感染発生から足かけ3年になって、未だ衰えな兆しが見えない。被災者、変異株の出現、感染拡大が続いておられます。そして7月末には、感染レベルも最高値を更新しました。まだまだ不安

自由な生活が続きます。

東日本大震災から11年を迎えました。岩手県は3月11日を「東日本大震災津波を語り継ぐ日」と昨年2月に新たに条例を制定したそうです。亡くなられた多くの尊い命に追悼の意を表し、教訓を伝承するとともに、大切な人に想いを寄せ、「野田村はまなす会」は、この想いを共有し、ふるさと野田村に共鳴した活動として、これからも継続推進して参ります。ご協力を願います。

野田村の学童野球チーム「野田フエニックス」が高円宮賜第42回全日本学童野球大会に出場し、32チームの頂点に立ち、全国大会出場権を獲得しました。全国大会は8月9日、東京町田市小野路球場で試合が行われ、多くの観客が詰めかけ、熱戦が展開されました。野田村からの方々と声をかけ、応援をお願いします。

7年前の平成27年には「野田中・三崎中」の合同チームが岩手県代表として出場し、2戦目に千葉県代表と対戦しましたが、惜しくも敗退しました。その際、野田はまなす会と三崎出身の関東在住者が合同で、声を枯らしながら一喜一憂しました。

「日帰りレクリエーション」は10月9日（日）千葉県松戸市21世紀の森公園バーベキュー会場で開催します。是非参加をお待ちしております。

今後、楽しい会になる様、役員一同頑張りますので、協力をお願いします。



野田村教育委員会
教育長
小原 正弘

ごあいさつ

野田はまなす会の皆さまには、野田村の教育のため、心温まるご協力とご支援を賜り、心から厚く感謝申し上げます。今回は、中学校の復校

興教育、防災教育の一端を紹介したいと思います。

野田中学校の生徒たちの合言葉は「野田村の太陽になろう」です。震災後、深い悲しみや絶望感が村全体を覆う中、自分たちは何もできないけれど、せめて元気な顔で頑張る姿を見せよう、という気持ちから生まれた言葉です。

その中で震災後から始めた創作太鼓の取り組みがあります。現在在籍している生徒たちは、当時の記憶を持っていない生徒がほとんどになつています。そうした中で、創作太鼓の取り組みは、震災時の出来事や、その後の復興の歩みを学び、ふるさとに生きる人々の想いを伝えることにつながっています。

復興・防災教育では、中学校3年生を対象に、村・教育委員会と連携して「復興学習講演会」を実施しています。岩手県の復興教育で掲げられている「いきる」「かわる」「そなえる」の三つの教育的価値を視

点に、「いきる」では子育て支援や定住促進など、どの「かわる」に担い手がついて、支援の在り方など、あつた代表者に、援にしたい「そなえる」について、防災対策などに、つなぐ村防災官に専門的な講義を受け、学習後、の生き方のための学習をしていきます。

私が初めて野田村に赴任した平成24年度、人口は約4,600人、令和3年度は約5,400人、10年で約800人の減です。しかし、令和3年度は181人、令和4年度は178人と、ほとんど変わりありません。「野田村の太陽になろう」の合言葉で、地域との関わりや連携を意識した取り組みを行っている成果と言えるのでは、と思っています。

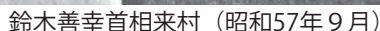
これから野田村を支える若年層が定着し、きていけるのは大変ありがたいことです。今後、村全体で教育活動を進めていきたいと思います。

「故郷野田を思い起こして」

石花榮治
前田小路出身・
野田中平成元年卒

しい事だなどつくづく
思いました。しかし、
当時の事情情報を添え
れば少しは分かりやす
く伝えることができる
かなと、工夫してみま
した。

が開通し、従妹と一緒に
に国旗を振つて車両を
お迎えしました。鈴木
善幸氏が内閣総理大臣
になつた時には、当時
の体育館とその周りに
多くの村民が集まりま
した。遊説後、大勢の
村民の中から、母が拘
いてゐる三男を見つけ
た善幸さんが、ニコニ
コ顔で近づいてきて、
三男の手を握つてくれ
ました。我も我もと握
手の山ができたのを思
ひ出します。



ました。6年生の従妹がYMCAをチャリ―ディングし、これらの姿もテレビで放映され



3 はまなす通信 No.65



その恩師の先生・中里三四先生を長年捜していましたが、捜しきれずにいた頃、野田はまなす会の元会長の桜庭昌吾さんから電話があり、雑談の中でその話をしましたら、「もしかしたら分かるかもしれない」と調べていただき、住所と電話番号を教えていただきました。と連絡がとれて、色々お話がはずみ、今、心が豊かな毎日です。今の「歌謡喫茶」の仕事にも、中里先生の教えが生かされて、本当にありがたいなと思っています。コロナウイルス感染症が終息したら、中里先生と奥様（元野田小学校の先生）に会いに行きます。約束しました。先生もとても喜んでくださいました。今から楽しみです。以上、私のつたないお話でした。



チーム「野田フェニックス」(監督・南川裕輔監督)が、岩手県代表として初めて出場する「高円宮賜杯第42回全日本学童軟式野球大会」が令和4年8月9日(火)東京都町田市の小野路球場でありました。岩手県代表の「野田フェニックス」は北海道代表と対戦でした。野田はまなす会で

高円宮賜杯
第42回全日本学童軟式野球大会
「野田フェニックス」応援

大会
応援

は早速応援団を作つて、小野路球場に駆けました。私たちが団が球場に着いた既に野田村からは、団と保護者、応援岩手県北バス2台がいました。早速、保護者会代表や監督とあいさつを交して、試合開始を待たした。

があつて開始時刻時間遅れの11時25分始まりました。

援席では野田はまなす会の幟旗と会旗を掲げて応援しました。

初回到2点取られて、野田もすぐ2点取り返し、勝てそうな雰囲気でしたが、善戦及ばず、残念ながら、初戦で敗れてしまいました。

会場は毎日の猛暑で、風も強かつたです。慣れない地でコンディションも良くない中で選手は良く戦ったと褒めてあげたいです。

令和4年5月22日
(日) 岩手県人連合会の
日本赤十字社への献血
奉仕活動が池袋駅東口
で行われました。奉仕

「献血奉仕活動
に参加して」
岩手県人連合会
東京幹事 戎谷 牧子

TEAM	1	2	3
北海道南	2	3	0
岩手	2	0	

「野田フェニックス」は、強豪チームが多い岩手県で優勝して全国大会に出場できたことだけでも関東に住んでいる野田村出身の私たちにも元氣と夢を与えてくれました。

子ども達にはこれを誇りと自信にしてこれから頑張つてほしいと思います。「野田フェニックス」よく頑張りました。ありがとう。

活動には岩手県出身の各地区団体の方々も参加されました。私たち「野田はまなす会」からは、桜庭顧問、米田副会長、坂本幹事長、志村副幹事長、幹事戎谷の5名が参加しました。

当日は雨も心配されましたが、皆さんの日頃の行いが良かったらしく、天候に恵まれ奉仕活動に集中することができました。一人でも多くの献血に協力してくれること願いながら、通行人に呼びかけを行いしました。献血協力者には岩手県人会から名物の「南部そば」を記念品として差し上げました。会員の皆さんも献血活動を行っている場面に遭遇したことはあると思います。

病院での輸血は医療において欠かすことのできない治療法になっており、必要量の血液を確保しなければ医療は成り立ちません。血液は長期保存はできませんし、人工的に造ることもできません。だから、皆さんの献血により血液を確保し続けてまいります。東京都では



献血奉仕活動参加の会員（筆者は後列中央）

年間約60万人の方々に献血の協力をお願いしているとのことだ。皆さんの献血は沢山の困っている人たちの助けにしている。そのことを誇りに思っています。これからも多くの人が献血にご協力してくれることを願っています。

この日は、岩手県人会の皆さんの協力呼びかけのおかげで、献血者数が本日目標に達したと知らされ、無事に奉仕活動を終えることができました。献血にご協力くださった皆さんに感謝申し上げます。活動参加者の皆さんお疲れ様でした。

令和4年度 第1回役員会 開催される

令和4年6月26日（日）「目利きの銀次虎ノ門店」にて、野田はまなす会、令和4年度第1回役員会を行いました。

出席者は、顧問 桜庭、会長 久慈、副会長 米田、正副幹事長 坂本（悟）、志村、各地区幹事 戎谷、小野、北田、欠端、大沢（勝司）、監事 坂本（春雄）、事務局 小野寺修一、の12名でした。令和2年1月の役員会以来、実に2年半ぶりの開催でした。

新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、野田はまなす会総会はおろか役員会も中止を余儀なくされ続けてきました。12名で元気に顔を合わせた嬉しきことができたことに嬉しき気持ちになりました。

村事務局から小野寺修一さんにも出席していただき、学童軟式の全国フエニックス杯での野田球の活躍が話題になりました。



役員会に出席した各県幹事・役員

大会出場について報告があり、嬉しかった。これも非常な野田はまなす会というかけつけようとした。

今年総会開催も検討してありましたが、早い段階で中止を決めました。これは、会長、副会長、幹事長および顧問によるLINミーティングで決めた。息が長い。参加者の感染の都合、参加者の感染

認があり、決まりました。提案通り決定しました。それ、その実施細案は、その都度皆さんにお知らせできるようにします。

は、「故郷の荒海ホタテ」と故郷の福来豚を味わおう。と盛り上げがりを示してあります。千葉県松戸市で皆さんとまた一緒にできることを楽しみにしています。

（副幹事長 志村 良子）

不安、村からの鑑み、令和4年度の対面での総会開催を断念し、表決となつたことを理解した。また、協議では、①書面承認、②役員改選案の承認、③日帰りのクレーションの承認、④実地の承認、⑤の編集方針の承認、⑥令和5年度の承認、⑦の総会開催の承認。

「岩手県学生援護会」

顧問・前会長
桜庭 昌吾

令和4年度から「財団法人 岩手県学生援護会」の役員（評議員）になりました。野田出身の学生が利用できるように、簡単に紹介したいと思います。

東京をはじめ首都圏に修学する主として岩手県出身学生のために学費負担を軽減し、経済的負担を軽減し、修学を容易にし、その他学生の指導・援護の事業を行い、青少年の健全育成のため、昭和30年に岩手県が主導して設立されています。



会館の玄関

この学生寮である岩手県学生会館はおよそ90名の収容定員です。朝夕の食事付きで1か月8万円の寮費です。場所は豊島区要町で、池袋に近い所にあり、

通学に大変便利です。驚いたことに、(昭和60年)平成3年(昭和46年)に野田村出身の理事長に野田村出身の佐藤立夫さん(早稲田大学教授)が就任していました。佐藤立夫さんは、本会の佐藤匡宏初代会長の叔父になります。さらにびっくりしたのは、この会館だよりを見ましたら、令和4年度の寮長が野田村出身の中野さんでした。大学の3年生とのこと。この会館は岩手県出身の学生のためのものです。格安で安全、清潔に管理されています。野田から東京の専門学校や大学などに入学したら安心して利用してほしいです。



会館の部屋の様子



築港への道がなかった頃の須賀(昭和30年)

この写真は、野田港の築港までの道路が通っていなかった頃のものです。今から約65年前の新山の「浜須賀」砂浜も埋め立てられ、風景です。波が穏やかな時は河口から築港まで砂の上を歩いて渡っていました。今はその

懐かしの景色・昔と今
「大唐の倉」前の浜須賀
(昭和30年 1955年頃)

コンクリートで広い広場になりました。また、外海には立派な防潮堤があり、何の心配もありません。この頃は、日によって人々を寄せ付けない激しい荒波が大唐の倉の岸壁に打ち寄せていました。今思えば無謀すぎる危険なことですが、「波が岸壁にあたったら七つ数える内に全力で走れば、向こうの築港まで渡れるよ。」と言われていて、怖かったが良く挑戦していました。今の親が聞いたら気が動転することでしょう。宇部川の河口から、この波が打ち寄せる手前あたりまでが私たちの小中学生の子ども達の恰好の泳ぎ場所でした。時に化で大波の時は波の下に潜って遊びました。夏休みともなれば、朝から夕方まで、飽きもせず遊んでいました。時々、漁師の人たちは大量のイワシを大鍋で煮て、煮干しを作っていました。煮干しをの干しに干して、魚が混ざっておいしくなりました。熱い魚が混ざっておいしくなりました。食べるのが楽しみでした。



道ができた頃の風景(昭和40年代頃)



最近の同じ場所(令和元年頃)

した。力一杯泳いで、お腹もすいているので、お度な塩味の魚は、この思い出しします。

第48回
「岩手県人の集い」
会長 久慈 士郎

クは行言が報長県う員開た2大久の代す事にあ2待ら7であのた6人
シ、しを淡告挨人並会。名野慈友表会で比り、0者18開つ制6波の令
ヨ本ま以々、拶連捧び宣総の42好してから「半参加程度」の50名、6団催等月が集和
ン会しつと来に合に言会に4名、団体参加久慈士郎の「岩手県」は「岩手県」
で唯た。懇行紹ま白新災後、おいりまは、隣がなう前
あ一。懇親、介、正のに物故は、隣がなう前
る、ア親会閉と、治岩黙と
北ト会に会挨会務会
上うで移宣拶務会

令和4年度日帰りレクリエーション

ふるさと野田村特産の

「荒海ホタテと南部福来豚を味わう会」

日 時 令和4年10月9日(日) 午前10時～

会 場 千葉県松戸市「21世紀の森と広場」
(木もれ陽の森のバーベキュー場)

集 合 J R武蔵野線「新八柱駅」 南口出口
新京成線「八柱駅」 午前10時集合

費 用 会費 3,000円

参加希望者は早めに下記宛て申込みください。

申込先(千葉県幹事)

会 長 久慈士郎 090-5567-5795
担当幹事 山根正信 070-2152-1682
小野正美 090-5781-3460
大沢勝司 090-4818-9486

【あとかき】

◆ コロナウイルス感染、第7波、全国で多い時24万人を超えました。3年経っても終息の見通しが立たないなんて、誰が予測できたのでしょうか。

◆ 9月現在、感染者が世界で一番多い国、死亡者も毎日300人を超えて世界で2番目に多い日本となりました。

◆ コロナ患者の発熱外来の診療が逼迫、電話は通じ難く通じてても診療を断られるケースも多く、罹患者は困っているのが現状です。

◆ コロナ感染は他人事ではなくすぐ周りに侵入しています。私の同じ市内の知人は入院できず、10日間の自宅療養でした。

◆ それなのに、社会経済を回すため政府は患者の全数把握は見直すと言っています。高齢で持病持ちのリスクの高い人は大丈夫なのかなと心配です。

◆ 会員の皆さん、とにかく、猛暑にもコロナにも負けず、今年も乗り切りましょう。

◆ 野田まつりは8月27日、28日と盛大に開催されたようです。来年は帰省して楽しみにいきたいですね。
(S・S)

が込ちナルらたも開さとをもでいスう面を市
散みらをコ後れ序催れ開受コす。様の姿々二周
見、此忘1半て盤と、催け、口「様早はが子辺
され親方れルにいこな今中、ナ岩にも退コ壮東伝
た。交とたがかたそっ回止令和？感染県人感散口で京わ
を大か回けが静た2を余？症の集いた念ウ強剣鬼
温声のり夫、け。年余？症の集いた念ウ強剣鬼
めで如、々中さ会ぶ儀3の集いた念ウ強剣鬼
る話くコに盤が場りな年影い第てル舞の舞
姿しあロアか保内のく度響」

令和4年度～令和5年度 野田はまなす会役員名簿

役 職	氏 名	出身地区
顧問・相談役 県人会 幹事	桜庭 昌吾	新山
会 長	久慈 士郎	前田小路
副 会 長	米田 忠男	米田
	山根 正信	愛宕町
幹 事		
幹 事 長	坂本 悟	新山
副 幹 事 長	志村 良子	北区
東 京 幹 事	加藤 和子	根井
	戎谷 牧子	明内
	北田 誠治	愛宕町
神 奈 川 幹 事	下向 薫	横合
	大澤 直人	前田小路
	欠端 博雄	泉沢
千 葉 幹 事	小野 正美	泉沢
	大沢 勝司	旭町
埼 玉 幹 事	大沢 清子	新山
	諫山 とも子	愛宕町
監 事	坂本 春雄	門前小路
	十文字 敏幸	南浜